

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名		富士大学		設置者名	学校法人富士大学			
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成21年度)			
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員 就職者数
						実数	個別	
経済学部	経済学科	110人	中一種免(社会)	平成3年度	97人	11人	4人	0人
			高一種免(地理歴史)	平成3年度			7人	
			高一種免(公民)	平成3年度			0人	
	経営法学科	110人	高一種免(商業)	平成11年度	75人	11人	4人	1人
			中一種免(保健体育)	平成21年度				
			高一種免(保健体育)	平成21年度				
経営情報学科	50人	高一種免(情報)	平成15年度	25人	4人	4人	1人	
入学定員合計		270人	合計		197人	26人	19人	2人
備考	・「学部・学科等の名称等」欄は、平成22年4月1日現在の名称・定員である。 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄には各学科等の実人数を、「個別」欄には各学科等内の教職課程ごとの人数である。							

実地視察大学に対する講評

実地視察日：平成22年7月9日（金）

実地視察大学：富士大学

実地視察委員：大坪委員、八尾坂委員

■ 大学の教員養成に対する全般的な状況

<状況>

- ・ 1学部3学科で、教員養成を行っている。

<講評>

- ・ 特色ある授業もあり、学生の頑張りをサポートする意欲・体制に長けている点は非常に評価出来る。ただし、誤った広報活動が確認出来るため、直ちに是正すること。

■ 教員養成に対する理念、設置の趣旨等の状況

<状況>

- ・ 建学の精神である「活力ある社会の発展に寄与する人材の育成」に基づき、「より良い教育を目指す課題意識を持った教員」を養成している。

<講評>

- ・ 教員養成に対する理念・構想は示されているが、それを明確化・具体化するために、教職課程に対する全学的な組織、教育課程や教員組織がより一層充実したものとなるよう努めること。

■ 教育課程（教職に関する科目等）、教員組織、履修方法及びシラバスの状況

<講評>

- ・ 1単位あたりの授業時間数が十分に確保されていない科目が確認出来るため、きちんと確保されていることが確認出来るようシラバス上に明記すること。
- ・ 出席のみをもってプラスの評価を与える事が望ましくないため、評価方法を見直すこと。
- ・ シラバスについて、学生に授業内容をきちんと周知することが出来るよう各回、詳細に記載すること。

■ 教育実習の取組状況

<状況>

- ・ 原則自己確保で出身校を優先している。

<講評>

- ・平成18年7月の中教審答申「今後の教員養成・免許制度の在り方について」を参照の上、大学の責任において実習校を確保し、大学の教員と実習校の教員が連携して指導に当たる機会を積極的に取り入れること。また、実習校により評価にばらつきが生じないように留意すること。
- ・教育実習の円滑な実施に努めているほか、事前及び事後指導の実施についても授業方法に創意工夫が見られる。
- ・多くの教職経験者を有効活用し、今の教育現場の状況を知る機会をさらに増やしてほしい。

■ 学校現場体験・学校ボランティア活動などの取組状況

<状況>

- ・岩手県教育委員会及び県内の国公立大学と連携した事業、学校現場体験活動「スクールトライアル」に参加している。

<講評>

- ・体験した活動を教職課程にどのようにフィードバックし活かしていくかを再考の上、より充実したものにしてほしい。

■ 教職指導及びその指導体制の状況

<講評>

- ・教職科目の開設については、学科の専門科目の開設時間帯との編成を整理するなど、意欲ある学生の履修を困難にしている状況を改善すること。

■ 教員養成カリキュラム委員会などの全学的組織の状況

<状況>

- ・FDプロジェクト委員会において、3学科の教養科目の評価、FD、改善に取り組んでいる。
- ・教職課程委員会において、教職課程の円滑な組織運営とその充実改善を図っている。

<講評>

- ・教職事務の正確な知識を習得し、チェック体制を強化しながら全学的な組織がより充実したものとなるよう努めてほしい。

■ 施設・設備（図書等を含む。）の状況

<講評>

- ・体育スポーツ施設を中心に施設・設備は非常に充実している。
- ・図書について、学習指導要領、教科書並びに教職関連雑誌等を充実させ、学生が利用しやすいよう配置を工夫すること。

